

# 緑のボランティア通信

2015.8.1

No.40

## 緑豊かなまちづくりを目指して 緑化助成制度

川崎市と川崎市公園緑地協会では、緑豊かなまちづくりを目指して、様々な助成制度を実施しています。制限があるものもありますので、詳細はお問合せ下さい。

- **屋上・壁面緑化** → 建物の屋上・壁面を利用して緑化に取り組む市民や事業者に、経費の一部を助成します。
- **生垣づくり** → 公共性があると認められる場所で、生垣を新設する場合又はブロック塀を撤去し生垣に転換する場合に、経費の一部を助成します。
- **緑の保全・管理** → 特別緑地保全地区・緑地保全協定地・保存樹林等、市と管理協定を締結頂いた所有者の方々に、管理費の一部を助成します。



### きづな ＊ 思い出記念樹「樹繫」Q & A ＊

「記念樹を育ててみませんか」  
人生の節目となる記念日のお祝いとして、みどり豊かなまちになるよう願いを込めて、希望する対象者に苗木を無料で差し上げています。

**Q** どんな対象がありますか？

**A** 出生、入園、小学校入学、成人、結婚、銅婚、銀婚、金婚、賀寿（還暦、古希、喜寿、米寿、卒寿、白寿）新市民、新築です。

**Q** 苗木の種類は選べるのですか？

**A** はい、16種類から選んでください。ツバキ、ツツジ、シャクナゲ、キンモクセイ、ジンチョウゲ、ライラック、アジサイ、モッコウバラ、サルスベリ、ハナミズキ、ナンテン、ガジュマル、ゴールドクレスト、パキラ、ベンジャミン、ドラセナです。残念ながら花の色は指定できません。

**Q** 申込方法を教えてください。

**A** 区役所などで配布中のちらしのはがき部分に記入し、切手を貼ってお送りください。公園緑地協会ホームページからもダウンロードできますよ。



かわさき緑のイメージキャラクター  
緑の妖精 グリンピー

目次	
緑化助成制度 / 「樹繫」 Q & A	1
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

## 参加者募集

### ◆ セミのぬけがら調査 今年も等々力緑地で実施中！

梅雨明けとともに、セミの鳴き声も大きくなり夏本番。今年も「チャレボラ」や「黄緑クラブ」のこどもたちと等々力緑地で「セミのぬけがら調査」を実施しています。セミは種類によって生息に適している気温や湿度が異なり、ぬけがらの分布を調べることで環境の変化を知る手がかりとなるといわれています。見学歓迎、希望者には調査資料も進呈します。関心のある方は、お問合せください。



### ◆ 花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー育成講座）締切間近！

私の住むまちを「花と緑のまちづくり」で推進したいと考えている方を対象に地域の緑化活動の核となる人材（リーダー）を育て・学ぶ講座で、花と緑の基礎知識を学び地域の環境リーダーを養成します。

**日時：**9月から来年1月までの全6回 **会場：**中原区役所等 **申込方法：**区役所、市民館等で配布する応募ちらしの申込書に必要事項を記入し公園緑地協会まで送付またはFAXください。原則6回出席のできる30人を8月7日締切で募集中です。

### ◆ 「さとやま研修会」

地域の緑地を知り、川崎の緑を守り、育てる活動を始めませんか。実際に作業を体験します。単回で申し込めるので、初めての方から作業体験を積み重ね腕を磨きたいベテランまで幅広くご参加いただけます。

**第4回：**9月26日（土）9時半～12時 生田緑地ばら苑付近の里山で枝打ち等

**第5回：**10月18日（日）9時半～12時 生田寒谷特別緑地保全地区でシノ竹刈り

**定員：**15歳以上の30人 雨天延期 **申込方法：**往復はがきに〒、住所、氏名、電話番号、希望の日程（複数同時申し込み可）を記入し、「さとやま研修会」係まで送付ください。実施前月の1日から3日前まで先着順で受けます。



### ◆ 2015花と緑の交流会 予告・・・今年もお土産コーナー実施決定！お楽しみに

市内の公園や緑地で緑に関わる活動をしている団体の交流を図ることを目的に、市民による実行委員会で企画が進められています。今年度の会場、日程は以下の通り。入場整理券の申込方法等、詳しくは次号ボランティア通信やチラシ、市政だより等でお知らせします。

**日時：**27年11月29日（日） **会場：**中原市民館 多目的ホール、他



## ご案内！

### ◆ 川崎市建設緑政局みどりの企画管理課より「かわさきのみどりづくりワークショップ」のご案内です。



川崎市緑の基本計画の改定に向けて、将来のみどりを守り、育てていくために必要な取組を考えるワークショップを開催します。8月17日から30日までの間に市内4か所で開催、各回先着25人。詳細は、市のホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000023138.html>）や区役所等で配布するチラシをご参照ください。問合せは、みどりの企画管理課（044-200-2399）まで。



## はづみ花と緑の会 (2014年再登録)

**活動場所** 葉積緑地 (麻生区片平 1-15)

**交通案内** 小田急多摩線「五月台駅」より 徒歩7分

葉積緑地は、周囲がぐるっと住宅地に囲まれており、小田急線の駅からも近いところに位置しています。3つの広場が起伏のある樹林地で繋がれ20,000㎡を越える面積を有しており、以前より地元の有志が手入れのための団体を結成していましたが、広い緑地に対応しきれずにいました。そこで、平成26年に新しいメンバーを募り、葉積緑地の貴重な緑と環境を守る活動を再スタートさせました。手を入れることにより、近隣の皆様にとって緑地が手軽に自然と親しめる場所となり、植生も、より豊かなものになることを目指しています。



毎月2回、自然や草木が大好きで、かつ緑地が安心・安全な場所であってほしいと願うメンバーが集まって汗を流しています。現在は、緑地入り口周辺の見通しづくりのための間伐、植込みの剪定、広場の下草刈り、公園全体の清掃が活動の中心になっていますが、今後は、緑地奥の手入れ、花壇作りなどにも手を広げて行きたい、と夢が広がります。まだまだ多くのメンバーが必要です。のんびり楽しくやろう、をモットーに参加くださる方を募集していますので、皆様の気軽な参加をお待ちしています。(中山 靖子)

## 馬絹東公園愛護会 (2011年設立)

**活動場所** 馬絹東公園 (宮前区馬絹 1031-15)

**交通案内** 東急田園都市線「宮崎台駅」より 徒歩20分

隣接する工場跡地に、平成21年マンションが建ち、同時にテニスコート2面程の芝生の公園が提供されました。その後、2年間は誰も手入れせず、雑草が生い茂り、不法投棄が繰り返され芝生も赤土がむき出しとなり、子ども達が安心して遊べる芝生の公園とはほど遠い状態となっていました。平成23年に公園近くの住人5人が区役所に「公園緑地愛護会」の登録を行い活動を始めました。奉仕活動には無縁な勤めを終えた方や



現役サラリーマン世帯で、芝生の手入れもわからない素人集団で参考書を購入し学びながらのスタートでした。造園業の専門家は「芝生は何も手入れしないと4、5年で枯れてしまう」と言っています。

平成25年3月には「緑の活動団体」にも登録し、月2回の定例作業(第二、第四土曜日)は早朝に行い、芝生の補修作業も4月、5月と小分けにして子ども達の遊びの妨げにならないよう配慮しています。また、花の好きなご近所の方々にも手伝って戴き、6月と11月に花壇の花苗の植付を行っています。利用者が大切に使用していることも有り提供から6年目となる現在も青々とした芝生が公園を利用される方々の癒しとなっています。宮前区に全開放型で市民の手による芝生の公園が維持されているのは馬絹東公園だけです。「芝生の手入れ大変ですね」「何時もお花がきれいですね」の声を励みに活動を続けます。(松尾 實)

## 栽培種の『アマチャ』と野生種の『ヤマアジサイ』

古くからおこなわれてきた“お花まつり”(4月8日)では、“お釈迦さまに甘茶をかける”という習わしがあります。ここで使われる甘茶(アマチャ)という名の植物があるのはご存知でしたか? 今回は、お寺さんなどによく植えられている『アマチャ』という植物と、その原種の『ヤマアジサイ』を紹介します。

### No. 41 王禅寺の甘茶(アマチャ)



王禅寺の北側の山門前に植えられたアマチャ。ふつうのアジサイと思われることも多いのですが、実はヤマアジサイ(アジサイ科[旧ユキノシタ科])の品種群で、葉や茎に赤紫色を帯びるのが特徴です。いわゆる、西洋アジサイの類は、日本の海岸に自生するガクアジサイから生じた品種群で、大型で光沢のある葉が特徴です。このアマチャ、若葉を蒸して揉み、乾燥させることによりフィロズルチン(ショ糖の数倍の甘さ)という甘味成分ができるそうです。昔の人は、よくぞこの甘味に気付いたものですね。

#### 王禅寺

住所 麻生区王禅寺 940  
交通案内 小田急線「新百合丘駅」からバス 15分  
「日立研究所下」バス停より徒歩 3分

### No. 42 生田緑地の山紫陽花(ヤマアジサイ)

生田緑地の中にある湧水(わきみず)のほとりに自生するヤマアジサイ。

生田緑地にはこうした湧水が何か所かあり、そのほとりや小川沿いの湿った場所に、真っ白な花をつけるヤマアジサイが自生しています。関東のヤマアジサイは白花が基本で、川崎の丘陵地に自生するヤマアジサイも本来はこのタイプです。花びらのように見えるものは“がく片”で、このがく片のある花を“装飾花”といい、雄しべや雌しべが退化していることが多く、内側にある小さな花たちが本来の花なのです。

川崎市内にはこのヤマアジサイをはじめ、タマアジサイやコアジサイも自生していて、生田緑地ではこの3種とも観察できます。しかし、残念ながら彼らが生育できる環境が失われつつあるようで、いずれも市内では絶滅が心配されています。園路から外れずに観察し、静かに見守りたいものですね。



#### 生田緑地

住所 多摩区柵形7丁目、他  
交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」  
南口より 徒歩 13分

◀ヤマアジサイの花

\*このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。\*

あなたのご近所の地名の由来にもなった銘木や巨樹、珍しい花が咲く木、変わった風景の木、調べてほしい不思議な木等々の情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介します。・・・執筆いただいている木珠(こだま)氏がこのコーナーのホームページを作りました。《<http://hitotokinoharuka.web.fc2.com>》「川崎のツリーウォッチング」で検索してみてください。